



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月29日

上場会社名 セブン工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7896 URL http://www.seven-gr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 浩一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 河合 剛 TEL 0574-28-7800
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	9,620	△12.3	156	△51.0	188	△39.0	185	△27.5
2020年3月期第3四半期	10,971	1.4	320	24.2	308	26.2	256	76.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	41.64	—
2020年3月期第3四半期	57.40	—

(注) 当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算出しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,446	6,559	62.8
2020年3月期	10,829	6,463	59.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,559百万円 2020年3月期 6,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	40.00	65.00
2021年3月期	—	20.00	—		
2021年3月期 (予想)				7.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式分割を考慮しない場合の2021年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は21円となり、1株当たり年間配当金は41円となります。詳細については、「株式分割後の配当予想及び業績予想について」をご覧ください。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	△15.3	70	△82.5	70	△81.7	110	△55.6	24.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。詳細については、「株式分割後の配当予想及び業績予想について」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,673,250株	2020年3月期	4,673,250株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	208,350株	2020年3月期	207,456株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,465,414株	2020年3月期3Q	4,466,526株

（注）当社は、2020年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式分割後の配当予想及び業績予想について）

当社は、2020年5月15日開催の当社取締役会において、株式分割について決議され、2020年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。なお、株式分割考慮前に換算した2021年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2021年3月期の配当予想
 - 1株当たり期末配当金 21円00銭
2. 2021年3月期の業績予想
 - 1株当たり当期純利益 73円90銭

（注）2021年3月期の年間配当金（株式分割考慮前）は41円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が甚大な影響を及ぼしております。一時は、経済活動再開の広がりが見られるようになりましたが、ここへ来て感染が再拡大するなど、未だ感染の終息時期が見通せず、極めて厳しい経済環境が続いております。

当住宅関連業界におきましても、消費税増税の駆け込み需要の反動減及び新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞並びに消費マインドの低下等により新設住宅着工戸数は減少し、市況は悪化を辿ってきました。

こうしたなか、環境変化に対応できる体制構築を図り、足元を固めていくと同時に、経営課題である非住宅向け商品の開発、当社独自の強みを発揮できる省施工製品や高付加価値商品の拡充を図ってまいりました。また、従業員の安全、健康を最優先とし、ITを活用した働き方改革の推進に努めるとともに、受注状況に応じた柔軟な生産体制のもと徹底した経費削減、合理化を推進し、収益力の向上に努めております。

コロナ禍を背景に事業活動に制限があるなか、経営課題として掲げた諸施策を推進し、受注の確保に努めてきたものの、売上高の減少が避けられず、特に内装建材事業において、主力の階段を中心に受注が低迷したこともあり、非常に厳しい事業運営となりました。木構造建材事業については、プレカット・パネル・建装事業が一体となった事業運営のなか、非住宅分野への展開等を強固に推し進めてきたことにより、主力のプレカットが好調に推移したことに加え、建装事業における大型施設建築物の完工も業績に寄与するなど、こうした時勢においても堅調な業績で推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は、96億20百万円と前年同四半期と比較し、13億51百万円(△12.3%)の減収となりました。利益面では、営業利益1億56百万円と前年同四半期と比較し、1億63百万円(△51.0%)の減益、経常利益は1億88百万円と前年同四半期と比較し、1億20百万円(△39.0%)の減益となりました。また、四半期純利益は1億85百万円と前年同四半期と比較し、70百万円(△27.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産につきましては、104億46百万円となり、前事業年度末と比べ3億83百万円(△3.5%)の減少となりました。これは主に減収等による売上債権等の減少によるものであります。

負債につきましては、38億86百万円となり、前事業年度末と比べ4億79百万円(△11.0%)の減少となりました。これは主に長期借入金及び仕入債務等の減少によるものであります。

純資産につきましては、65億59百万円となり、前事業年度末と比べ96百万円(1.5%)の増加となりました。これは主に配当金の実施があったものの、四半期純利益の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は前事業年度末と比べ3.1ポイント増加の62.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染拡大によって首都圏などに緊急事態宣言が再発出されたことにより、新型コロナウイルス感染拡大の影響は当初の仮定よりも長期化の様相を呈しております。また、住宅関連業界においても消費マインドの低下等により新設住宅着工戸数が減少するなど影響が出ております。

当初は新型コロナウイルス感染症による影響は2021年3月期の一定期間にわたり継続するものと仮定しておりましたが、その影響が2022年3月期まで継続するものと仮定を変更いたしました。なお、2021年3月期通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の断続的な拡大が繰り返されていることから極めて厳しい経済環境が続いており、2020年7月31日に公表しました予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	817	831
受取手形及び売掛金	2,822	3,379
電子記録債権	1,410	697
商品及び製品	271	206
仕掛品	309	357
原材料及び貯蔵品	610	549
その他	99	89
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	6,335	6,105
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	776	762
土地	2,772	2,772
その他(純額)	525	478
有形固定資産合計	4,075	4,014
無形固定資産	105	92
投資その他の資産		
前払年金費用	165	118
その他	147	114
投資その他の資産合計	313	233
固定資産合計	4,494	4,341
資産合計	10,829	10,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,294	1,141
電子記録債務	810	725
短期借入金	—	300
1年内返済予定の長期借入金	434	366
未払法人税等	50	—
賞与引当金	145	35
その他	510	480
流動負債合計	3,245	3,049
固定負債		
長期借入金	996	734
役員退職慰労引当金	64	44
資産除去債務	3	3
その他	56	55
固定負債合計	1,120	837
負債合計	4,366	3,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,675	2,675
利益剰余金	1,559	1,656
自己株式	△243	△244
株主資本合計	6,464	6,560
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
評価・換算差額等合計	△1	△1
純資産合計	6,463	6,559
負債純資産合計	10,829	10,446

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	10,971	9,620
売上原価	9,102	8,012
売上総利益	1,869	1,607
販売費及び一般管理費	1,549	1,450
営業利益	320	156
営業外収益		
受取配当金	0	2
受取手数料	2	1
雇用調整助成金	—	36
スクラップ売却益	0	0
資材売却益	1	1
その他	1	3
営業外収益合計	4	44
営業外費用		
支払利息	8	5
売上割引	7	7
その他	0	0
営業外費用合計	16	13
経常利益	308	188
特別利益		
固定資産売却益	10	0
受取損害賠償金	3	—
保険解約返戻金	—	3
その他	—	0
特別利益合計	13	3
特別損失		
固定資産廃棄売却損	10	0
減損損失	3	—
特別損失合計	14	0
税引前四半期純利益	308	191
法人税、住民税及び事業税	29	19
法人税等調整額	21	△14
法人税等合計	51	5
四半期純利益	256	185

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。